

### 受賞者のご挨拶

#### むつみ造園土木株式会社

代表取締役 佐々木 創 太 様



ご紹介賜りました、むつみ造園土木株式会社の佐々木です。この度は、中小企業の名誉と評価の高い「中小企業振興表彰」を頂き、誠にありがとうございました。秋田経済研究所理事長・藤原清悦様、秋田銀行頭取・湊屋隆夫様、そして、関係者の皆様から多くのご厚情とご指導を賜りました。この度の表彰はありがたく、とても嬉しく、あらためて衷心より感謝申し上げます。

#### 【造園建設業の時代変化】

私どもむつみは、創業者の佐々木吉之助が旧天王町で創業し、間もなく50年を迎えます。創業当初は不動産、造園、建設事業を一体としたグループ経営でした。昭和57年から、それぞれ独自経営を進め、今日に至っております。

市場戦略もあり、当社は東北から関東まで営業展開しております。バブル期には関東圏で十数か所のゴルフ場、まちづくり開発事業に関わることが出来ました。昭和から平成へと時代が移り変わり、公共事業の大幅削減、民間事業やまちづくり開発事業の冷え込み、金融危機、自然災害と続き、私どもも建設の時代から災害復旧、維持管理・運営の時代へ、そして、建設業は地域社会に必要とされる社会貢献活動を着実に続けなければならないと考え、平成7年より先ず地域清掃活動から始めました。

造園緑化技術は、社会ニーズの変化とともに、

平成17(2005)年開催の地球環境をテーマにした「愛・地球博」(愛知万博)の大成功で、社会に一大変化をもたらしました。万博の会場づくりでは、造成工事を極力抑え木製デッキの上を歩かせる構造や、草花や樹木で埋め尽くした巨大な緑化壁「バイオ・ラング」、そのバイオ・ラングによる植物機能のエビデンス調査など、環境技術や造園デザインが大いに進化しました。因みに、この万博の総合プロデューサーは造園家であり、大学教授でもある涌井史郎氏です。今日では首都高速道路のリニューアル、国立競技場の改築、インバウンド観光事業の推進といろいろな分野で活躍されています。

インフラの維持、管理、運営は財政の厳しさもあり、民間のマネジメント力を活用する時代が来ると考え、技術の研鑽を重ね、様々な利用者サービスを試みてきました。平成15年より、国は、公共施設の管理・運営に指定管理者制度を導入しました。おかげさまで、ベストなタイミングで参入することができました。しかし、財政の厳しさ等々、課題は多々あります。技術と工夫と効率化、利用者第一のサービス精神で取り組んでいますが、地域住民の方々の参加が最大の推進ポイントになります。

日本の歴史・生活・文化が世界に認められ、日本庭苑、盆栽、「花士(はなのふ)」の活躍や、ビル全体を緑でデザインすることや、ショッピングエリアのプロデュース、そして、花と緑を

使ったハウジングメーカーの作品も素晴らしく、造園土木のかたちも日進月歩で進化しております。私どもは“ローカル建設業 未来の見える化”を目指して着実に努力を続けてまいります。

### 【秋田グリーンサムの杜づくり】

私どもの社会貢献活動の実践は今年で23年目になります。平成12(2000)年のグリーンサムガーデンのオープン、その後、沿道緑化、「さんぼ駅」の設置、全国グリーンサムサミットの開催、「パークエンジェルス号による地域見守り隊」の創設、平成22(2010)年からは「グリーンサムの杜」事業に着手し、平成24(2012)年にNPO法人の認可を受け、平成27(2015)年6月20日に第一期事業を完了することができました。国・県・市・関係者の方々、金融機関の皆様、用地提供者の方々、私どものステークホルダーの方々、とりわけボランティアのフットパスメンバーの方々、学校関係者の方々と多くの地域関係者の方々のご協力、ご支援の下、第一期エリアは開園できました。

3年前に鬼籍に入られた社会のドクター、世界的な経済学者の宇沢弘文先生は、自然環境とともに、社会的インフラ、医療や学校制度などの社会的共通資本を整え、高めることが国づくりの基本であると多くの論文を執筆されています。「グリーンサムの杜」づくりは、あらゆる生命が活かされる自然環境の“里山コモン”づくりなのです。コミュニティの基本は個の尊厳、即ち多様性を尊重しつつ地域の魅力を深化させ、昇華させることにあると思います。進化し続けなければ、地域の持続可能性も失われてしまいます。互助、共助、協働のコミュニティ活動、自然のなかでの健康活動や文化活動、そしてこ

れらを支えるみどりの産業活動、創造的取り組みがそのポイントとなります。

地域が美しくなれば、森羅万象の気が動き魅力も高まり、ひいては資産価値評価が高まります。地域社会を構成する市民お一人おひとりにそれぞれの存在意義と役割もあるように思います。できれば各々の輝きが見られれば地域は明るく元気になります。良きコミュニティはミュージカルづくりなのかもしれません。

英国の元首相アトリーは、民主主義の基礎は「他の人が自分より賢いかもしれないと考える心の用意です」と述べました。また、リベラリズムは「意見を異にするもの同士がそれぞれ肩を組んで歩こうとする心組み」とも言われます。“里山コモン”こそが地方で生きる未来形のように思えてなりません。「グリーンサムの杜」のグランドオープンは平成37(2025)年を目指していますが、完成形は100年、200年先です。あらゆる地域の資源活用「ミドリのミクス」のグリーンサム・ラボを推進します。

杜の静寂の中で宇宙やみえない微生物との対話、そして、あらゆる交流を通して力強い創造力が育まれるよう努めてまいります。この度の受賞はとてありがたいご支援となります。社員一丸となって市民とステークホルダーとともに着実に取り組みます。本日は誠にありがとうございます。

#### (会社概要)

事業内容	造園土木業
設 立	昭和47年7月
資 本 金	3,500万円
従業員数	75名
売 上 高	19億5,100万円 (平成28年5月期)